Rotary International District 2570

GOVERNOR's MONTHLY LETTER

1st July, 2012 Vol.1

Peace Through Service
Sakuji Tanaka
Rotary International President 2012-13

「職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕」を私たちは更に深掘りする。

2012−13年度ガバナー
鈴木　秀憲

国際ロータリー第2570地区　2012～2013年度
ガバナー月信 2012年7月1日 **第1号**

RID 2570 SAITAMA / JAPAN
いいね ふくよ

2012-13 年度
国際ロータリー会長

田中　作次

平和という概念は、人によって、文化によって異なります。心の平安や家族の幸せ、満足感を指す場合もあるでしょうし、人間の基本的ニーズが満たされた安全な状態を指すこともあるでしょう。平和をどのように定義するにせよ、それは奉仕を通じて達成できる目標です。

ロータリーにおいて、奉仕とは、片手間にすることでも、たまに取り組んでみることでもありません。奉仕とは生き方です。それは、思いやりの心を重んじることであり、調和へといたる道です。生活のあらゆる場面で奉仕を実践することによって、私たちは分かち合いの精神を育み、友好を見出し、平和の道を選ぶことができます。

2012-13ロータリー年度には、平和が私たちの焦点、そして目標となり、ロータリアンの皆さまには、「奉仕を通じて平和を」もたらすため、積極的に活動していただくようお願いいたします。平和に向けた努力は、すべての人、家族、クラブ、地区、地域、そして国から始まると思います。

ロータリーの中核にあるのは、奉仕の力に対する信念です。奉仕を優先すれば、自分よりも他者のニーズが優先され、考え方ががらりと変わり、人々が抱える困難に対し、深い同情の心が生まれます。人々を助けよう、人々がもっと幸せになるよう自分にできることをしよう、という気持ちがさらに湧き上がります。自分の時間やリソースを惜しみなく与え、新しい考え方に対してもさらに心を開くことができます。それは、他人を変えようとするのではなく、すべての人やものが自分に何かを教えてくれること、毎日、新たな成長の機会が与えられることを認識することになります。

奉仕を通じて平和を

奉仕を通じて、私たちは、違いに対して寛容になり、周囲の人に対して感謝の気持ちを抱くようになります。感謝の気持ちを持てば、もっと相手を理解でき、あらゆる人の中に善を見出せるようになります。こうした理解を深めることで、他者への尊重の念が高まり、互いに対する尊重の念があれば、人々は平和に暮らすことができると思います。

ロータリーの奉仕は、さまざまなかたちで平和を助長します。私たちは、クラブと地区で、世界中の地域社会に健康、安全、人間の尊厳をもたらすために活動し、競争よりも協力、自分の儲けよりも公益に価値を置こうという気持ちが、私たち一人ひとりの中に生まれます。自分を見つめることを通じて、私たちは、完璧な人間などいないということ、そして誰もが人から何かを学べるということを理解します。

ロータリー独自の標語、「超我の奉仕」は、奉仕の最高のかたちを表しています。このような奉仕こそ、私たちが歩むべき道であると、私は信じています。この道はロータリアンが築いた道であり、世界のすべての人々が歩むことのできる道です。さらに深い思いやり、満足、寛容、理解へといたる道です。「奉仕を通じて平和を」を標榜するなら、私たちは、自分たち、そして世界のために、さらなる平和へ向けて邁進していくことができるでしょう。

田中作次

2012-13年度国際ロータリー会長
田中　作次

国際ロータリー第 2570 地区
2012 − 2013 年度　ガバナー

鈴木　秀憲

改めて、ガバナー就任のご挨拶をさせて頂きます。

会員の皆様には、ロータリーの新しい年度を、希望に満ちて迎えられた事と存じます。

田中作次 RI会長は「Peace Trough Service」を本年度のRIテーマに掲げました。日本語には「奉仕を通じて平和を！」と訳され、「平和」には色々な注釈はあるものの「戦争の無い状態」と仰いました。

これを受けて、私は「奉仕の追求」を地区の重点課題と致し、我々の行う「職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕」を更に深掘りすべきと考えました。

「平和」は直接的には、国際奉仕が関わりますが、我々ロータリアンは、先ずは職業奉仕に努め、その上で（或いは同時に）社会奉仕・国際奉仕に努めるべきであると考えます。

職業奉仕はロータリーの基本であり、自分と自分の職業を常に磨く事であると考えています。利益や売上高を競うのではなく、お客様の側に立って、製造業は製品を、販売業は商品を、サービス業はサービスの内容を常にレベルアップする事が職業奉仕の本分と考えます。周囲への配慮も大切です。

その結果、利益がついて来ます。お店は繁盛します。何よりも周囲から尊敬されるでしょう。「あの人のようになりたい」と。ロータリアンは尊敬され、憧れの的になります。

社会奉仕は、クラブや地区が地域で必要とされている事を行います。地域で必要とされている事は、社会の変化と共に常に変わるので、毎年行ってきたから今年も行うという事ではなく、定期的に見直しを行う必要があります。長期的に実施が必要な事は行政へ提言する事も考えるべきです。

国際奉仕は、紛争の解決や人道的支援をはじめ、本当に必要な事業を具体的な行動に移していく事を訴えたいと考えています。何しろ本年度のテーマが「平和」なのですから。

重点課題は以上です。しかしこの三奉仕だけを行うという事ではありません。

クラブ奉仕は、RI戦略計画にあるように、増強と公共イメージに重点が置かれています。

・会員増強について申し上げると、先ずは前述したように「ロータリアンが世間から尊敬され、憧れの対象になるよう心掛けるべきだ」と申し上げます。付き合いで入会したり、親睦目的で入会しても長続きはしないし、会費が高すぎると思います。先ずはロータリーの基本（目的）を説くべきです。

・公共イメージと認知度の向上は、単にメディアへ売り込むとか、その他広報するという事ではなく、先ずは我々が世間へ有益な奉仕事業を行う事で、公共イメージと認知度の向上を狙うべきです。

地域で単に世間から要望されているとか、今迄実施して来たからという事ではなく、真に必要とされている事業（場合によっては真に必要であると考えられる事業）を行う事です。その結果、公共イメージと認知度は向上すると考えます。

社会奉仕はクラブがそれぞれの地域において必要な事業を行います。必要な事業は地域によってそれぞれ異なりますから、外部から見ると色々な事業を行っていて、何をやっているか分からないとも言われます。又、方向性がそれぞれですと、その力は強くはなれません。それはそれで良いのですが、場合によっては地区を挙げてまとまって事業を行う必要もあります。

自画自賛になりますが、「めざせ世界遺産！」活動は地域の活性化と郷土意識の向上を訴えており、埼玉県全体へ関わる事なので、大変有用な事業であると考え、第2770地区と連携して行う予定です。

「職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕」を
私たちは更に深掘りする。

鈴木ガバナー ガンバレ！

直前ガバナー

立原　雅夫

立原さん有難うございました。

ガバナー

鈴木　秀憲

今年度重点テーマは『奉仕の追求』。その目的はロータリー活動の基本の再追及でもあります。1905年の発足から約100年が経過し、この間に行われてきた奉仕活動は、戦争や経済不安など乗り越えて大きな成果を重ねてきました。しかし今、社会の激しい変化に対応して新しい奉仕活動の追及が未来への課題になっており、まさにタイムリーです。

昨年の地区テーマ『Smart Rotaryを探して！　継続できるロータリークラブとは?』も新ロータリー活動を模索するものでした。

そしてRI・田中作治会長のテーマも「奉仕を通じて平和を」であり、グローバルで壮大な目的です。鈴木ガバナーは小人数で小さな吹上RC所属です。どうぞ地区全体で一致団結し、協力してガバナーを応援してください。

きっと、『いい風ふくよ！』

「Smart Rotaryを探して」の地区テーマを掲げ、事業推進へ邁進しようとしていた矢先に東日本大震災が発生し、このためテーマに「ガンバレ！日本のロータリー」をプラスし、立原年度がスタート致しました。

以来、立原さんの仕事ぶりを間近に拝見しながら、私はガバナーエレクトの務めを果たしてきました。

そして一番感じた事は、立原さんの人間的魅力です。細かい事にかかわらず、豪快と言う表現が最適かと思いますが、ダイナミックな地区運営は、私にとって大変勉強になりました。

私自身、これからの地区運営を考えると、厳しい面もあり大変であると考えていますが、学んだ事を活かして良き伝統を守り、一方で改革すべき点は、会員各位のご理解を頂きながら進めてまいります。

今後も先輩としてご指導下さるようお願い致します。

変革に備えて下さい

ガバナーエレクト

中井　眞一郎

立原直前ガバナーをはじめ前年度役員の皆様には地区のためご尽力を賜り誠にありがとうございました。

おかげさまで鈴木年度は「いい風」を受けて始まります。鈴木ガバナーはじめ本年度役員の皆様にはRIの本年度テーマ「奉仕を通じて平和を」に沿ったご活躍を期待し、私も一年間研鑽を積む所存です。

皆様特に諮問委員各位にはRIの最新の規定や理事会決定を踏まえたご助言をお願い申し上げます。

さて私は、25年前所沢市長就任の際与党２野党38のため毎議会紛糾しながらも公約はもちろん議員定数削減など公約していない改革まで行い、所沢調停協会会長の時は埼玉調停協会連合会が長い間当然としていた制度や規約を変更させました。

ロータリーが変革の時を迎えたと言われてからも、当地区は会員減少とこれに伴う財政状況以外はあまり変わっていない気がしますので、次年度は大幅に変更するつもりです。

「不意打ち」とのお叱りを避けるために場違いのときでもあえて私の方針をお知らせすることにしました。RIは増強それも「白髪から黒髪へ」と小規模クラブの合併を求めていると考え、私は、会員が37人以下（人数は試案、今後増減あり）のクラブを次年度支援（制裁?）対象にする予定です。

小規模クラブが支援対象にならないためには今年１年で大幅増強か合併で会員数を少なくとも38人以上にして頂くしかないと考えていますので、今からご準備をお願い申し上げます。

鈴木ガバナー年度が素晴らしい成果をあげられることを心から祈念申し上げ、私の挨拶とします。

ロータリーの心と原点

地区研修リーダー

西川　武重郎

ある場所で読売新聞の埼玉支局長と酒を酌み交わしながら、東日本大震災のこと、そしてそれに対するロータリーの取組について熱く語ったところ、埼玉版の「日時計」というコラムで記事にしましょうということになりました。そこには、大震災直後の３月31日に読売新聞の一面に掲載された「生きているといいね。ママお元気ですか」と書いて眠ってしまった昆愛海ちゃんの写真に心を打たれ、なんとしても被災遺児のために義捐金を使いたいと強く思ったこと、私達同期のガバナー10名で「ロータリー希望の風奨学会」を立ち上げたこと、そして現在奨学金の支給が始まり、その中には家族８人のうち7人を失った女子高校生もいることなどが書かれ、最後に皇后様が愛海ちゃんの写真を見て詠まれた、

「生きているといいね。ママお元気ですか」
文（ふみ）に項傾（うなかぶ）し幼児（おさなご）眠る

の歌と共に、遺児たちに明るい未来が来る日を願って、と書かれています。６月10日の日曜日の読売新聞埼玉版に掲載されましたのでご一読ください。

私は今「奨学金をいただき、ようやく前を向くことができるようになりました」という遺児たちの声を聞き、そっとではありますが「希望の風」は確かに遺児たちの背中を押しているのだという確信を深めています。と同時に次代を担う青年達が進学の希望を断つことなく、将来に向けて夢を膨らませることに、少しでも協力出来ているということに喜びを味わっています。

人のために奉仕し、そこから得た喜びこそ、人としての真の喜びであります。ロータリーの心と原点はここにあるのだということを多くのロータリアンに伝えていくことが、研修リーダーとしての私の勤めであると思うのです。

参加したくなるRCを目指し努力

第1グループガバナー補佐

竹間　暎（東松山）

第1グループガバナー補佐の竹間です。現況のRCは会員減少に直面しています。これは現在の日本経済を反映しているもので、残念ながら納得するしかありません。

そこで、失われた20年間のGDPで判断すれば、1991年に469兆円、2010年のそれは468兆円です。この間、この地区の会員数は約3,000名から1,800名に減少しています。これはまさにその結果と思われます。しかしこの現況の中、鈴木ガバナーをリーダーとして、魅力あるRC、参加したくなるRCを目指し努力したいと思います。第1グループの皆様の絶大なるご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

行動しよう

先ず与えるべき奉仕に着眼

第2グループガバナー補佐

細田　優（朝霞）

鈴木秀憲年度の第2グループ、ガバナー補佐を務めることになりました細田優でございます。一年間よろしくお願い申し上げます。補佐の役目としましては、クラブに対する迅速な支援、クラブの要望に応える支援等々ですが、要はクラブに対して支援を提供しなければならないということだと考えます。本年度RI会長の田中作次氏のテーマは、「奉仕を通して平和を」です。このテーマを受けて第2570地区の鈴木秀憲ガバナーは、「奉仕の追求」を重点課題としました。ロータリーは相互扶助、共存共栄の精神で倫理感を持って行動することだと思います。奉仕の理想を標榜する者は、受けるべき物質ではなく、先ず与えるべき奉仕に着眼すべきでしょう。物質を眼の前近くに置けば見透しは困難となります。その最も愚かなる方法は金銭に集中することではないでしょうか。第2グループでは今年、会長、幹事さんと相談の上、複数のクラブと合同で親睦会、職業奉仕、社会奉仕を相互に行えたらと考えております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

ロータリーの意識改革を図ろう！

第３グループガバナー補佐

平岡　達也（入間）

日本人として3人目のRI会長、田中作次氏は「平和」を強調され、そしてRI戦略計画の3つの優先項目に一層力を注ぐよう要請されました。また鈴木秀憲ガバナーは重点課題として「奉仕の追求」を掲げ、ロータリアンは自分と自分の職業を磨くこと、その結果事業は繁栄しロータリアンは尊敬され憧れの的になる、このように心掛けるべきだと述べられています。

何れも大変難しい問題ですが、でも手をこまねいていても何にもなりません。出来ることからトライする、それがロータリーです。率先して行動しようではありませんか。今年一年どうぞよろしくお願い致します。

第４グループガバナー補佐

梅澤　茂（深谷ノース）

今年度は八潮RC（2770地区）から、日本人3人目のRI会長として田中作次氏が就任されました。この事は日本のロータリーにとって素晴らしいことです。私達は同じ埼玉県民として、この機会にロータリーを大いに盛り上げて活動しようではありませんか。

先ずRI会長の強調事項である『奉仕を通じて平和を』の実践をどのように具現化するか、又、鈴木ガバナーの地区テーマ『奉仕の追求』をいかにロータリー活動に取り込んでいくかが、私達ロータリアンの今年度の課題となります。

第４グループのロータリアンの皆さんで、ロータリーの理念に基づいた意識高揚を各人が図り、このテーマの活動を展開し実践させていきましょう。

この一年間、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

まごころつくせ

第５グループガバナー補佐

前嶋　修身（熊谷）

あれを見よ　みやまのさくら咲きにけり
まごころつくせ　ひと知らずとも

見る者もいない深い山に咲いている山桜の花は、ひとに見てもらうために咲いているのじゃない。人間も同じ、ひとが知ろうと知るまいと、まごころを尽くそう。

この詠み人知らずの歌は私の座右銘であり、ロータリアンの精神そのものなのではと、かねがね思ってきました。もっとも、クラブ自体の広報は重要で、人知れずとはいきません。

座右銘を胸に、これから一年間鈴木ガバナーを支えてまいる所存です。会員の温かいご協力をいただければ幸いです。

顧　問

高山 孝（坂戸）

諮問委員会

福島 良治（深谷）

今泉 清詞（川越）

田中 一郎（坂戸）

金子 千侍（秩父）

大舘 清次（朝霞）

梅沢 定彦（所沢）

髙橋 福八（本庄）

野中 弘之（熊谷東）

鈴木 勲二（和光）

石川 嘉彦（入間）

真下 和男（東松山）

加藤 玄静（本庄）

西川 武重郎（志木）

立原 雅夫（川越）

ロータリーの友

情報源、ロータリーの友！

ロータリーの友地区代表委員
磯田　力彦（新所沢）

「友」誌にはロータリーの多岐にわたる情報、知識が満載されています。又その編集においては大きな労力が注がれている事は言うまでもありません。故に会員の皆様に是非読んで頂けるよう努力し、更に各クラブの活動報告を頂いて「友」に掲載できるようにしたいと考えております。

On To Lisbon

歴史とファド音楽のリスボン

On-to リスボン委員会
馬橋　亟男（吹上）

溢れる熱気のバンコクから、歴史とファド音楽の港町リスボンへ。田中作治RI会長のもと、大会の場はポルトガルへと。皆様と共に記憶に残る楽しい旅を計画致します。

クラブ奉仕部門

未来のクラブのために

委員長
山口　茂（熊谷南）

ロータリーの基本である基本はぶれず良い事は残し継続し、そして今の時代に合わせての、クラブ運営、例会実施が必要です、今年一年よろしくお願いします。

会員増強委員長として

会員増強委員会委員長
高柳　育行（本庄）

２回の会員増強セミナーの開催とクラブから依頼の卓話等を通じて、会員増強の認識を高めてもらい、各クラブでの増強が実現できるよう努めたいと思います。

公共イメージ委員長です！

公共イメージ委員会委員長
内山　明夫（東松山むさし）

広報委員会から今年度は公共イメージ委員会に名称が変わりました。全力で頑張ります！　昨年同様皆さんのご指導とご協力をお願い致します。

職業奉仕部門

ロータリーの源流は職業奉仕

委員長
細井　保雄（行田さくら）

昨年作成した地区版「我等の生業」が好評でした。今年はそれをバージョンアップグレードします。高校生活動体験プログラムは県との共同事業として今年も実施いたします。

『我等の生業』の編纂

職業奉仕委員会委員長
田代　充雄（熊谷西）

「ロータリーとは何ですか」を考えると、「職業奉仕とは何ですか」に行き着きます。職業奉仕とは企業を継続することであると換言すると、目標が見えてきます。

青少年に生きる力を

高校生体験活動委員長
五十嵐　敦子（本庄）

本年も引き続き高校生体験活動委員長を奉仕の心で務めさせて頂きます。青少年の生きる力の育成のため皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

社会奉仕部門

公共感向上で奉仕を

委員長
木藤　文雄（坂戸）

クラブと共に公共イメージを高め、地域に根ざした奉仕活動と地域活性化の事業をしましょう。次代を担う東日本の青少年の学業継続支援に協力しましょう。

地域社会に喜ばれて

クラブ支援委員会委員長
小久保　富夫（新狭山）

今年度は、地区として各クラブの皆様と共に、新しい奉仕活動を実施しようと考えております。その節はご協力のほど宜しくお願いします。

地区を挙げての事業

地区事業委員会委員長
新井　啓介（行田さくら）

さきたま古墳世界遺産運動を埼玉県全域に広げるため、2770地区への広報活動、ブライダルパーティーとお見合い相談会、2770地区との合同パーティも開催します。

国際奉仕部門

全クラブが海外の姉妹クラブを

委員長
新島　修一（深谷ノース）

国際奉仕には感動があります。感動がエネルギーを生み、世界を変える原動力となります。その感動をお伝えし、全クラブに海外の姉妹クラブ作りを提言します。

コミュニケーションを深めよう

クラブ支援委員会委員長
岡本　正巳（川越）

各クラブの国際奉仕活動を支援すべく、各クラブ及び各委員とのコミュニケーションを深め、活動発展に貢献することを目標とします。

奉仕活動を通して平和を

地区事業委員会委員長
金子　泰三（ふじみ野）

人道的支援を始め、本当に必要な事業を具体的化していく事を基本とします。各クラブの国際奉仕活動の内容を調査し、支援金等の活用方法の研究を実施します。

新世代部門

信念と共に

委員長
坂本　元彦（富士見）

如何なる国でも組織でも、大事な事は活力です。源たるべき希望と自信を若者に植え付けるべく、過去の流れを絶やさぬよう信念と共に歩むのみです。

元気活性化を目指して

アクト委員会委員長
武藤　典夫（志木）

提唱RCが学校へ出向き、相互理解を目的とした更なるご協力をお願いし、元気活性化を目指して、支援していきたいと思います。ご協力の程をお願いします。

YEPの楽しみ

青少年交換委員会委員長
宮原　克平（志木）

派遣生の成長を５年間にわたって見つめ、若いリーダーを育てる委員会です。ロータリーでは他にありませんし、若いパワーをもらえる元気な委員会です。

未来のロータリアン

ライラ委員会委員長
島田　敏郎（富士見）

RYLAを成功させるには、各クラブの支援と関心が重要となりますので、RYLAの実績にご理解を頂きご協力頂きますよう、よろしくお願い致します。

ロータリー財団部門

持続可能性と未来の夢計画

委員長
松本　光司（坂戸さつき）

R財団は現代のニーズを満足させることと、将来のニーズに対応できるように各分野で持続可能性の原則を取り入れ、「未来の夢計画FutureVision plan」として次の世紀に向けてスタート致します。

R財団の補助金制度が改定

推進委員会委員長
柴崎　典一（深谷）

本年度、財団推進委員長を仰せつかりました柴崎です。寄付金推進のための広報活動と未来の夢計画移行への前年諸事業を担当します。宜しくお願い致します。

国際親善奨学生を派遣

補助金奨学委員長
茂木　聡（本庄）

本年度は地区補助金利用時のクラブ同額負担をなくし、多くのクラブに利用して頂きたいと存じます。皆様のR財団へのご協力をお願い致します。

米山奨学部門

より身近な米山へ

委員長
井上　豊（秩父）

米山記念奨学制度は、留学生を支援し、世話クラブ、カウンセラーを通じてロータリー精神を世界に広げている日本ロータリー独自の活動です。会員皆様の温かいご理解をお願い致します。

大切な目的の一つ

米山記念奨学学友委員長
坂元　優蔵（本庄）

米山記念奨学学友会は、学友との長い交流も米山奨学会の大切な目的の一つです。

米山事業にご理解を

米山記念奨学推進委員長
奥田　功次（富士見）

留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける奉仕事業です。

一人でも多くの奨学生を採用出来ますよう皆様のご支援ご協力をお願い致します。

e-club 研究委員会

新しい形態のRCとして

委員長
大川　隆史（熊谷）

Eクラブはインターネットのホームページ上で例会を開くRCです。国際化に向かい、多くの可能性が期待されます。

鈴木年度・地区大会

1日目　2013年4月20日（土曜日）
　　会場：ホテルガーデンパレス
2日目　2013年4月21日
　　会場：鴻巣市文化センター
　　クレアこうのす

実行委員長
上岡　常浩（吹上）

副実行委員長
黒渕　陽夫
（行田）

副実行委員長
戸ヶ崎　直司
（行田さくら）

地区大会ホストクラブ

会長
神庭　浩（吹上）

幹事
鳥羽　千太郎（吹上）

事務局の固定化で合理化を

12名のクラブの吹上RCがホストクラブを引き受けることになりました。行田RC・行田さくらRCが一緒に協力してくれることにもなりました。

特に、今年は事務局の固定化として事務所が東松山の紫雲閣になり、地域的には2570地区の中間に位置しておりますので、狭いですがホテルの会議室・ロビーは広く会議の場所としては便利になりました。

事務員の交代等で各クラブのみなさんには大変ご迷惑をかけましたが、固定化した事によって合理化も進み、期待できる体制になったと思います。

地区幹事　**丸岡　章二**（吹上）

公式訪問担当副幹事
湯本　茂作（行田）

月信編集担当副幹事
矢澤　大和（行田さくら）

副幹事
持田　朋春（行田）

副幹事
小菅　克祥（行田）

副幹事
斎藤　恒（行田さくら）

副幹事
橋本　恭一（行田さくら）

副幹事
五十幡和彦（行田さくら）

副幹事
馬橋　亟男（吹上）

副幹事
山崎　研（吹上）

副幹事
持田　日出雄（吹上）

副幹事
高橋　興基（所沢）

編集部から

ロータリー川柳募集

立原年度に好評をいただきました「ロータリー川柳」を、今年度も引き続き募集致します。少ない文字数だからこそ、ロータリーの精神や意義が浮き上がってくるのが川柳の魅力です。詠んでは身に沁み、読んでは心に響く、ロータリーに関したウイットに富んだ作品をお寄せ下さい。

投稿は、「氏名・クラブ名」を明記の上、メール、FAX、はがき等で、ガバナー事務所・月信・川柳係宛お送り下さい。

一カ月に1回、お一人3句までとさせていただきます。応募多数の場合は、月信編集部で選考させていただきます。

立原年度地区大会「ガバナー賞受賞作品」のご紹介

我れ磨き　事業も磨く　ロータリー
清水　孝男　（行田さくら）

歯車を　欠かない工夫　皆の声
吉野　光治　（熊谷籠原）

役職が　燃えて智恵出す　ロータリー
中島　秀夫　（川越）

晩酌の　つまみは友の　川柳欄
荻野　靜次　（入間南）

ロータリー　友が印した　道標
原口　安太郎　（熊谷西）

ロータリー　わが人生の　処方箋
小澤　誠邦　（行田さくら）

裏表紙の記事企画について

2570地区各地の由緒あるイベントや施設などをご紹介していく予定です。

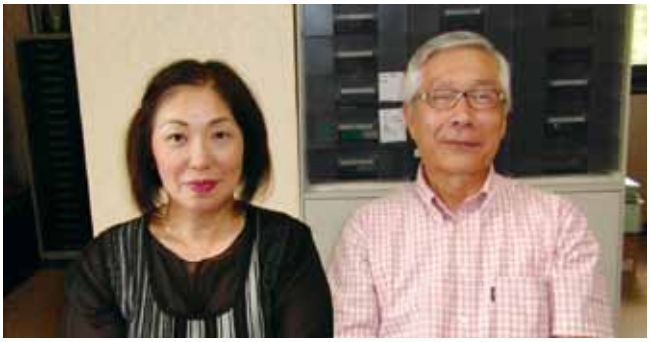
今月号はその第一弾として、「さきたま古墳群」を取り上げました。以下、「平林寺」、「高麗神社(巾着田)」、「川越まつり」、「石田堤（田んぼアート）」、「秩父夜祭」、「妻沼の聖天さま」、「加須不動尊」、「さきたま古墳Ⅱ（はにわ）」、「元荒川の桜」、「さきたま火祭り」、「行田蓮」などを企画しております。ご忌憚のないご意見や、皆様のクラブ近辺でこんなものを是非取り上げてほしいというご要望がありましたら、月信編集部までご連絡下さい。

7・8月のスケジュール

7月		
1	日	ガバナー懇談会
2	月	ロータリー財団ゾーンセミナー
8	日	米山記念奨学部門セミナー
14	土	クラブ奉仕公共イメージセミナー
21	土	新世代部門セミナー
22	日	埼玉打ち水大作戦（第 2770 地区との合同事業）
24	火	（公式訪問）川越
25	水	（公式訪問）ふじみ野
26	木	（公式訪問）東松山・小川・東松山むさし
30	月	（公式訪問）朝霞キャロット
31	火	（公式訪問）朝霞

8月		
1	水	（公式訪問）川越西
3	金	（公式訪問）熊谷
4	土	職業奉仕部門セミナー
		インターアクト年次大会
7	火	（公式訪問）所沢
8	水	（公式訪問）飯能
20	月	（公式訪問）新狭山
21	火	（公式訪問）深谷
22	水	（公式訪問）寄居
23	木	（公式訪問）新座
24	金	（公式訪問）和光
25	土	ローターアクト年次大会
27	月	（公式訪問）本庄南
28	火	（公式訪問）羽生
31	金	（公式訪問）川越小江戸

国際ロータリークラブ　第2570地区事務所のご案内



平野喜美子　　藤田　光男

第2570地区事務所にて、クラブの運営や会の開催準備、月信発行のお手伝いなどをさせて頂いております。円滑な運営のために、いろいろお願いを申しあげたりすることもございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。何かお気づきの点がございましたら、地区事務所までお気軽にご連絡下さい。

電話&ファックス番号、Eメールアドレスは裏表紙をご参照ください。

対応時間：月～金　午前10時～午後5時

月信スタッフ

阿部美登志　デザイナー

本年度月信のデザイン・編集・撮影をお願いしています。阿部氏は西川年度でも月信担当として活躍。その感性を鈴木年度にも活かして欲しいと、直接オファーして今回の運びとなりました。

「さきたま古墳群」

世界遺産への道は遠いけれど、一歩一歩目指していきましょう。

埼玉県は首都圏の一角をなし、都心からも近く便利です。気候も暑すぎず寒すぎず、自然災害も稀です。このように恵まれているが故でしょうか、あるメディアによる意識調査では、埼玉県の県民意識および郷土愛は全国47位と低い結果でした。これは、団結力や自治意識も同様に低いのではないかと考えさせられます。

そこで、県民が「共に燃える何か」ができることで、地元意識や郷土愛が育まれ、団結力や自治意識も高まってくるのではないかと考えました。

こうした観点から、埼玉県名発祥の地「さきたま古墳群（国指定史跡）」の世界遺産登録を目指す運動を、地元ロータリアンが提案し、活動しています。

世界遺産登録へのアプローチは、直接的には埼玉県に負うところが多いのですが、その後押しは県民が一体になって行わなければならないでしょう。

石川年度には、この活動が地区としての社会奉仕事業の一つとして選ばれました。更に、同じ埼玉の第2770地区のご協力も頂き、強力に推進しようではありませんか。ロータリーが率先し県民全体が協力することで、郷土愛が芽生え、そして地元意識が醸成されれば、社会奉仕事業として大変素晴らしい事と考えます。

さきたま古墳群：
５世紀後半から７世紀にかけて造営された古墳群で８基の前方後円墳と２基の円墳、１基の方墳からなる。前方後円墳は二重の周濠をもつ格式の高いもので、稲荷山古墳からは、国宝の「金錯銘鉄剣」が出土。

国指定史跡：県内に18カ所

国　宝：現在、県内に４点（近く５点に）

県名発祥：“さきたま”は漢字では埼玉。万葉集には「さきたまの津に居る船の風を疾み　綱は絶ゆとも言な絶えそね（さきたまの港で舫っている船が風を受けて揺れている。強く揺れて舫い綱がたとえ切れても、貴方と私の事は切れません）」とある。

金錯銘鉄剣：金象嵌で115文字が鮮やかに浮き出ており、年代・持ち主とその先祖・中央集権との関係などが推察できる。

世界遺産：人類のかけがえのない遺産。移動できない不動産。日本では文化遺産12件、自然遺産４件

国宝鉄剣が出土した「いなり山古墳」／2012年撮影

ガバナー月信　第1号
2012年7月1日発行
今月の表紙：
ガバナー　鈴木　秀憲

2012−2013年度ガバナー　鈴木　秀憲
国際ロータリー第2570地区　地区事務所
〒355-0028　埼玉県東松山市箭弓町２丁目５番14号　紫雲閣３Ｆ
TEL（0493）21−2570　E-mail＝d-office@mail.rid2570.gr.jp
FAX（0493）21−2571　Website＝http://www.rid2570.gr.jp/2012/